

【報道関係者各位】

CR-24-250  
札幌国際観光株式会社  
センチュリーロイヤルホテル  
2024年5月24日

センチュリーロイヤルホテル  
「北海道観光における宿文化の研究・展示に役立てて」  
ホテル開業時のパンフレットや  
回転レストランの食器などを地元博物館に寄贈  
2024年5月30日(木) 午前10時より

2024年5月31日(金)に閉館するセンチュリーロイヤルホテル（札幌市中央区北5条西5丁目、総支配人:桶川昌幸）は、5月30日(木)、当ホテルに関する写真や資料などを、北海道博物館（札幌市厚別区、館長:石森秀三）とまち文化研究所（主宰:塚田敏信）に寄贈いたします。

寄贈品はホテル開業時のパンフレットや写真、道内唯一の回転レストランで使用していた食器やメニュー、ホテルやレストランのロゴ（新・旧）の清刷りなど開業当時の資料から閉館前まで使用していた食器やメニュー、パンフレットなど12種余りで、今後北海道における観光や生活文化の研究及び展示での活用が予定されております。

2022年12月、当ホテルの閉館が決定した際、（ホテルが閉館しても）「積み重ねてきた51年の歴史を後世に伝えたい」「北海道唯一の回転レストランをはじめ、多くの道内外のお客様がさまざまなライフイベントを行う場所として営業してきたホテルの資料等を、北海道観光の歴史を伝えるツールとして活用いただきたい」という思いから、このたび博物館に寄贈することにいたしました。

まち文化研究所の塚田主宰は、「1973年の開業以来、道内資本のホテルとして、道内外の多くのお客様をお迎えしてきたホテルが閉館することを知り、レストランの姿や北海道を意識して取り組まれてきたホテルの記録をぜひ残したいと考えた。北海道の歴史を考える上で、観光は非常に重要なトピックであり、ホテルもそれらに欠かせない大事な要素に含まれる。私としては、それにまつわる物を保存・展示することで広く道民に自分たちの暮らす場所の歴史を伝えていきたい」と話し、総支配人 桶川は、「博物館には、道内唯一の存在であった希少な回転レストランや当ホテルの歩みなどを後世に伝えていただくと共に、北海道におけるホテルの歴史や文化の研究史料として役立てていただきたい」とコメントしております。寄贈内容は別紙の通りです。

【報道関係の方のお問い合わせ先】

センチュリーロイヤルホテル 営業企画室：蝦名(えびな)・大湯(おおゆ)  
TEL/011-210-9340 FAX/011-210-9331

## 寄贈式 開催概要

- ◆寄贈日時：2024年5月30日（木）午前10時
- ◆寄贈場所：センチュリーロイヤルホテル
- ◆寄贈者：札幌国際観光株式会社 代表取締役社長 兼 センチュリーロイヤルホテル総支配人  
桶川 昌幸
- ◆受贈者：北海道博物館 学芸副館長 小川正人様 まち文化研究所 主宰 塚田敏信 様
- ◆寄贈内容：食器、調理関係備品、ネームプレート、制服、レストランメニュー、イベント・ホテルフェア等の案内チラシ、パンフレット類、マッチ、ホテルのタグ、披露宴の食事メニュー写真・ホテル関係のロゴ清刷り、包装紙、その他各種印刷物など。

---

### センチュリーロイヤルホテルについて

住所／〒060-0005 札幌市中央区北5条西5丁目2番地

電話番号／TEL：011-221-2121 FAX：011-231-2538

ホームページ／<https://www.cr-hotel.com/>

開業／1973年（昭和48年）5月10日 閉館日／2024年5月31日（金）

総支配人／桶川 昌幸

施設／地上23階・地下3階 客室数／300室 収容人員／557名

レストラン／YUUYOO TERRACE SAPPORO（ユウヨーテラス サッポロ）、日本料理「北乃路」、スカイレストラン「ロンド」、ティーラウンジ フォンテーヌ 宴会場／4室 結婚式場（チャペル）  
その他／衣裳室、写真室 駐車場／30台収容（地下3階駐車場）

### ※参考資料

#### 【北海道博物館について】

住所／札幌市厚別区厚別町小野幌53-2

営業時間／5月～9月 9時30分～17時、10月～4月 9時30分～16時30分 ※入館は閉館の30分前まで

定休日 月曜（祝日・振替休日の場合、翌平日）、12月29日～1月3日、ほか臨時休館あり

料金 総合展示室入館料 一般800円（10名以上の団体の方はお一人600円）、高校生・大学生300円  
（10名以上の団体の方はお一人200円）

※中学生以下・65歳以上の方、身体に障がいのある方は無料

※音声ガイド 300円

駐車場／無料

電話／011-898-0466

公式サイト <https://www.hm.pref.hokkaido.lg.jp/>

#### 【まち文化研究所について】

2010年設立。道内を中心に生活文化のフィールドワークや記録資料の収集研究を重ね、成果を書籍や企画展示などを通して伝える活動を重ねている。

○主な展示

- ・〈小樽文学館企画展〉市立小樽文学館

- 2011年12月10日（土）～2月19日（日）「街の色・街の音・街の人々」
- ・〈札幌展〉札幌市資料館  
2013年7月8日（月）～14日（日）「歴史を生かした街づくり」
  - ・〈本棚のまち旅〉紀伊国屋書店札幌本店 1 F  
2015年7月5日（日）～9月30日（水）「知の交流ステーション」
  - ・〈まち文化図鑑〉テラス計画・三井 J P ビル5F眺望ギャラリー  
2016年1月15日（金）～31日（日）「北の道ばたモノ語り編」
  - ・〈市立小樽文学館企画展〉市立小樽文学館  
2018年9月8日（土）～10月28日（日）「小樽・まち文化博覧会 商店街・タウン誌・市場・銭湯・アラカルト」
  - ・〈札幌市中央図書館企画展〉札幌市中央図書館 1 F 展示室  
2019年6月24日（月）～7月20日（土）「まち文化商店街～札幌の暮らし集めてみました」
- ※以後、コロナ禍により展示関係中断。

2024年5月24日現在